

愛と希望の復興：宮城県岩沼市 ペアリング支援ニュース

コミュニティの力と最先端技術で安心して暮らせる、新しい二野倉地区

7月8日、岩沼市東仮設住宅集会所において、これからのまちを考えるワークショップが行われました。二野倉地区では、これまでに行われてきたワークショップでの話し合いをふまえて、公営住宅を地区の中に入れる、地区の中央にお茶を飲む集会所がほしいといったコミュニティのつながりを意識した意見や、太陽光エネルギー、医療クラウドといった最先端の内容まで、多岐にわたる提案が行われました。また、二野倉地区にあったサルスベリの木をシンボルツリーとして植えたいという希望もありました。参加人数も多く、多くの意見が出され、大変活気のあるワークショップでした。



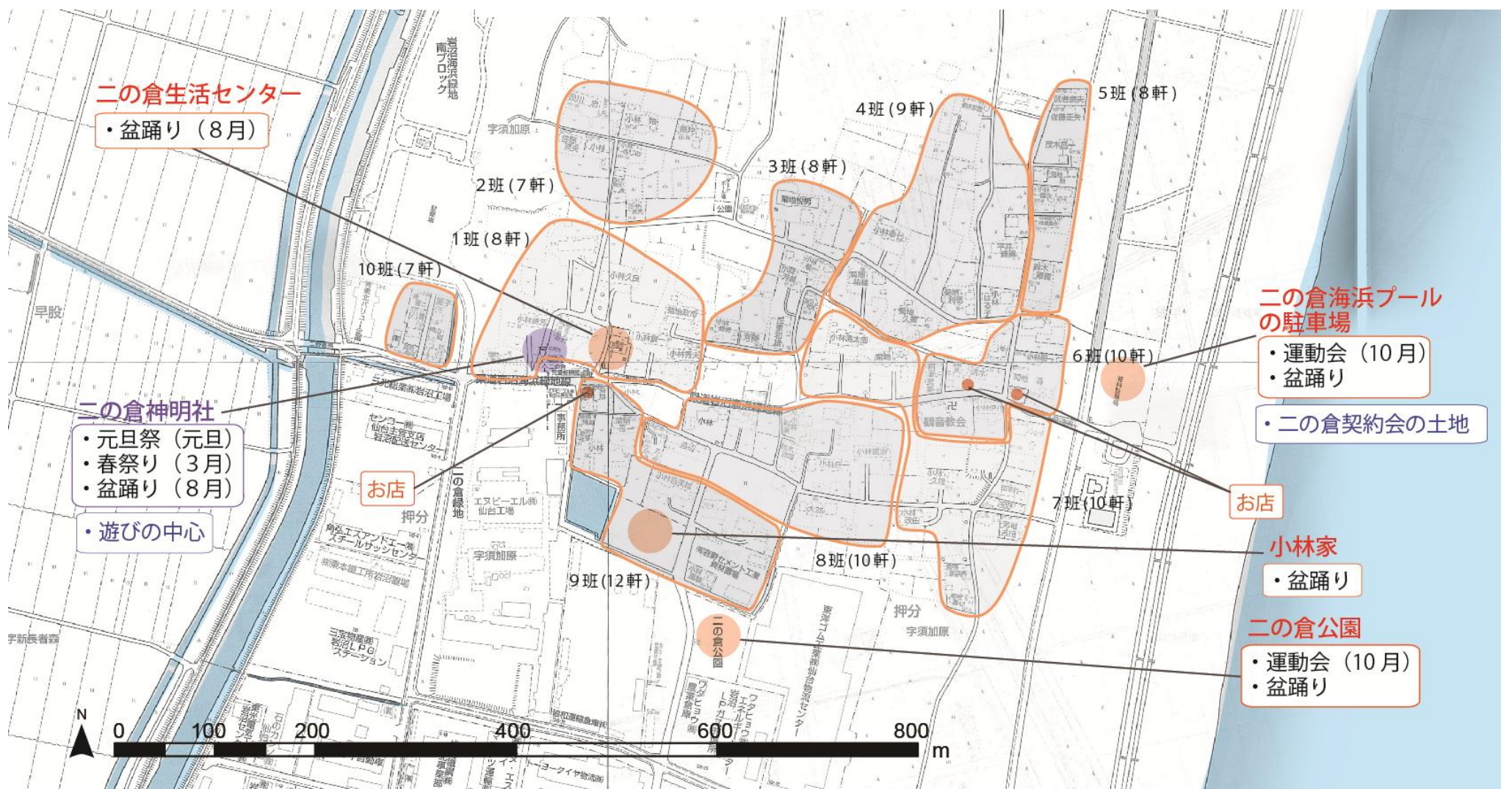
写真：ワークショップの様子

二野倉まちづくり

- ・災害公営住宅を地区の中に入れて欲しい
- ・地区の中央に集会所や、あずま屋（お茶飲み場）が欲しい
- ・家と家の間に植木（1.5m 位）を植えるなどして、はっきりとした区切りをつくる（ほど良い距離間）
- ・液状化対策をしっかりと行う
- ・電柱地中化を行う
- ・共同菜園（バーベキュー場）と小屋（木抜き井戸）と公園（遊具は木製等）、集会所の併設
- ・小川の流れる通学路
- ・太陽エネルギー、蓄電池などの自然エネルギーの活用

新しいまちに必要な施設・設備

- ・スーパーマーケット、喫茶店、小規模の直売所
- ・医療クラウド
- ・町内で使える防災無線、スピーカーの整備
- ・シンボルツリー（サルスベリ）
- ・各地区に郵便ポストやATM
- ・スポーツ広場、パークゴルフ場、バーベキュー広場
- ・屋根付きのゴミ置き場
- ・精米所
- ・共同駐車場



図：二野倉地区の暮らし（震災前）

この内容は、岩沼市玉浦西地区まちづくり検討委員会に反映される予定です。